

国際環境工学部

建築デザイン学科3年（参加当時）

### セルカーク・カレッジ 参加報告書

今回のカナダの体験は素晴らしいものになりました。今回の研修で積極的に行動することが大切だと学びました。積極的に行動することでホストファミリーと打ち解け一緒にお酒を飲んで談笑することや、バイクに乗せてもらうなど楽しい経験をさせてもらうことができました。



他にも、土日で開催される街のイベントや学校主催のダンスパーティに参加することで、日本で生活していた時には出会わないような人と出会ったり、新しい発見を得ることができました。私のホストファミリーはリタイアして余生を楽しんでいる夫婦でした。ホストマザーはアジア出身の方で料理がうまく日本人の口に合うような味付けの料理を毎日作ってくれました。家に日本製の炊飯器があり毎日にジャポニカ米を食べることができ留学でよくある食事面のストレスを一切感じることなく生活することができました。ホストファミリーは寡黙なお父さんでたまに冗談を言ってみんなを笑かしていました。頼めば目的地まで送ってくれたり趣味のバイクの後ろに乗せてくれてキャッスルガーを案内してくれたり親切なお父さんでした。土日は、ホストファミリーが所有しているバギーに乗ったり、湖でボートに乗ったり、いろいろなアクティビティに連れて行ってもらいました。また定期的に12歳の孫が遊びに来てくれるので、彼と一緒にバスケットをしたりアイスホッケーを見に行ったり映画を見たりしました。子供の英語は大人が使用する英語よりも簡単で理解しやすかったです。また子供との会話のほうが大人との会話より障壁が低く多く会話することができました。



学校の授業では、初めに実施するテストの結果に基づいてレベル分けをして自分に合ったレベルの授業を受けることができます。私は授業中の先生の英語を聞くことで精一杯でした。授業では他の国の人たちの文化などを聞く機会があり興味深い話を聞くことができました。また、カナダやキャッスルガーの歴史を博物館に行く授業があり日本では教わることがないような地元の歴史を知ることができました。週末は隣町のネルソンによく出かけました。ネルソンはキャッスルガーよりも人が多く毎週イベントが開催されていました。私が滞在した期間には LGBT+Q についてのパレードやクラシックカーの展示会などが行われていました。また、お土産屋や服屋さんなどもあり一日中遊べる街でした。他には大学の先生が主催しているパーティにも参加しました。先生の家になんか食べ物を持ち寄って BBQ をしました。そこでは韓国のお母さんお父さん方と話す機会があり、なぜカナダで生活しているのかや、韓国での生活、日本での体験などを聞くことができ、充実したものになりました。



今回のプログラムに参加したことにより英語勉強のモチベーションが高くなりました。世界各国の人と話せることで日本では知ることができない情報を得ることができ自分の成長につながるなど感じました。また私の所属する国際環境工学部の研究室には多くの留学生が在籍しており、自分の研究室生活を充実したものにするには英語の能力は必須です。今回の経験をもとにさらなる英語能力向上に努めます。今回のカナダでの生活は非常に充実しておりこれまでの夏休みの中で一番思い出が多くまた成長できた夏休みになりました。このような機会を提供してくださった北九州市立大学様、手続きやサポートをいただいた先生方、支援いただいた両親、カナダでの生活で出会った方々に感謝します。